

書象

新年おめでとうございます

— 編集部一同 —

日本書道芸術協会
SHO JAPAN
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-5561-1111



日本書道芸術協会

2021-

1

巻頭言

コロナ禍の中でも強い気持で

理事長 市澤 静山

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

書象会の皆様にとって、この一年が爽りのある良い年であるよう祈ります。健康で平安な日々を過されまよう願っています。書象展は今年が六十回展となります。記念して「張廉卿・宮島詠士・上條信山師生展」を開催いたします。書象会のルーツとなる三先生の精神性の高い書を世に示し、皆様にはじっくりと鑑賞していただきたいと思っております。この企画展示では広い壁面を占用するため、審査員と無鑑査会員の方々には作品サイズを小さくして半切の大きさとなります。この点ご理解いただきたく存じます。作品は小さいが、気持を強く持ち集中して優れた作品を仕上げてくださいと願っています。書象展開催に合わせて学生展や支部長講習会等のイベントは従来通り実施する予定です。

その他の書象会の活動としては書象誌は今まで通りであることは勿論ですが、展覧会部も研修部も例年同様の開催を計画しています。ところが、新型コロナウイルス感染症の状況は昨年より感染力が強まっています。この先ウイルスが拡散するのか、収束するのかは全く分かりません。テレビでは医学関係者・政府・自治体等から感染防止策を報じられますが、書象会では様々な情報を考慮しながらコロナ対策には万全を期して行います。「三密」を避け、マスク類の着用、消毒剤の使用等、昨年以上に注意、徹底を計ります。しかし行事の実施の可否については、感染状況により判断をしなければなりません。理事長、副理事長会議において検討をし決定いたします。多くの行事が予定通り実施可能となり、会員の皆様には喜んで参加していただけることを期待します。

一月二十四日には書象会恒例の新年会を予定していましたが、コロナ禍のため中止といたしました。それに伴い「総会」は書面による議決をお願いすることになります。また当日開催予定の「授号」は立派な会場での授号式を行うことができません。各支部において指導の先生から授号証を授与されることとなります。簡便な方法で行いますことをご理解下さい。

二〇二〇年 改組 新第七回日展「印泥畫沙」

日展特別会員 市澤静山書



世情、外出自粛により在宅時間が多くなっているようです。筆を執り書象誌の課題や古典の臨書をしてみましょう。書き進むにつれ集中度が高まって来ます。憂鬱な気持は消えてゆきます。煩わしさから解放されて、真の自己の精神が筆を運ぶようになります。これが書の素晴しさです。皆様の心のこもった競書作品や展覧会作品を拝見できることを楽しみにしています。



一塵の侵を受けず

1月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

楷書臨書規定【臨規】
(師範・準師範・段位)

化度寺碑

上條信山先生書

行 勤 苦
道 標 方

行 勤 苦。道 標 方 (外)

1月20日必着
出品券を貼付

・スピード感のある直線的な線で書きたい。

・横画の方向を右上りに統一させ、整齊の美を心がける。

・不即不離（即かず離れず）の原理で、文字中の空間が窮屈にならないようにする。

・縦画が向かい合うところは背勢を表現する。



楷書臨書規定【臨規】
(級位)

化度寺碑

上條信山先生書



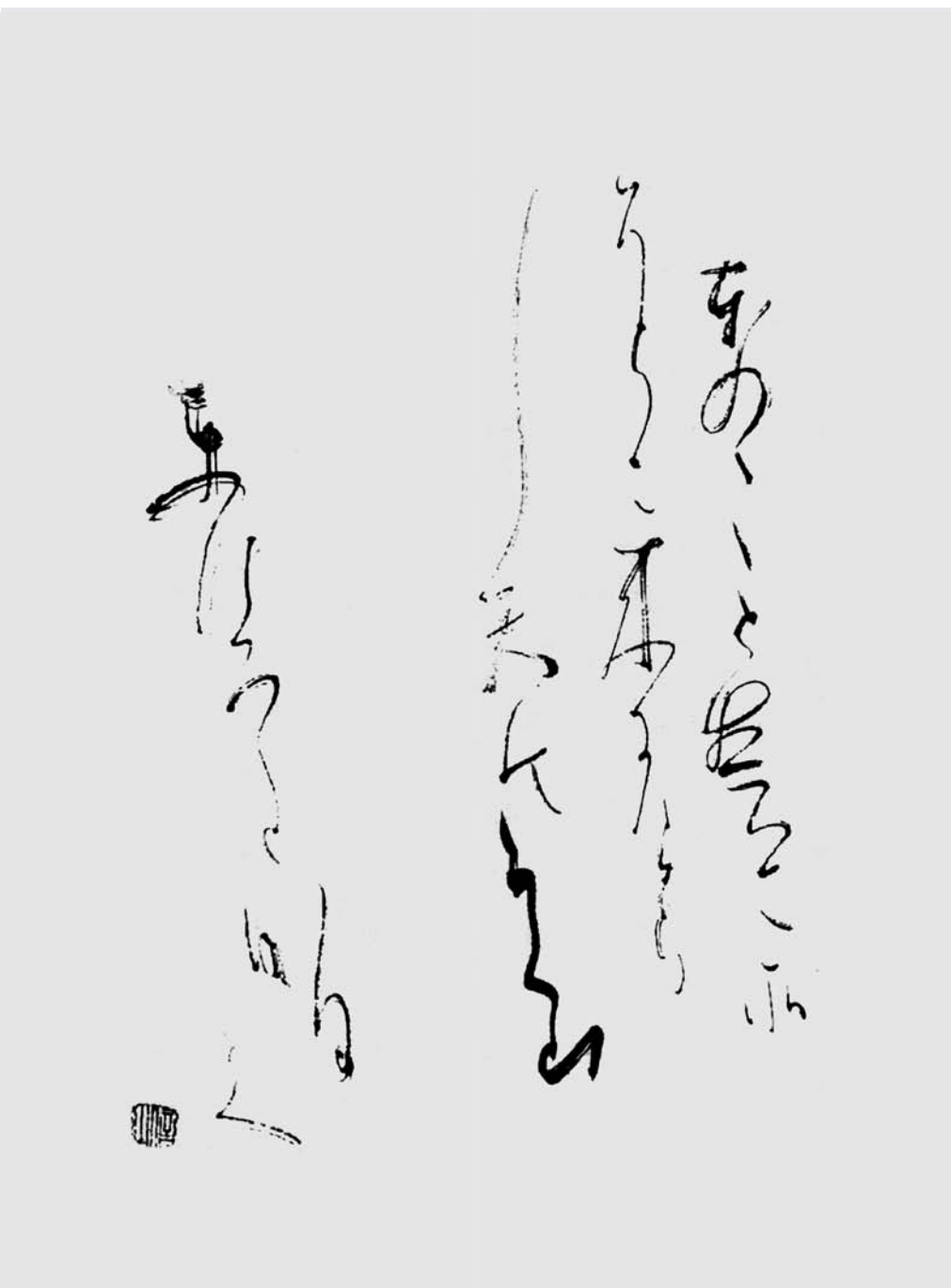
・左右の縦画は背勢に。



・横画は平行に。直線的で鋭い線を心がける。

仮名規定【仮規】 (師範・準師範・段位)

上條 信山 先生書



ほ(本)のば(々)の(々)と春こそ(所)そ(曾)らに(二)来に(尔)け(介)らし
 天の(能)か(可)ぐ山か(閑)す(須)みた(多)な(那)び(目)く (新古今和歌集)

1月20日必着
 出品券を貼付

・全体の構成は左図参照。三行目と四行目の間を広くとる。



・一行目を渴筆で書き始め三行目の「か(可)ぐ山」で墨継ぎをする。

「春」



「来に(尔)け(介)」

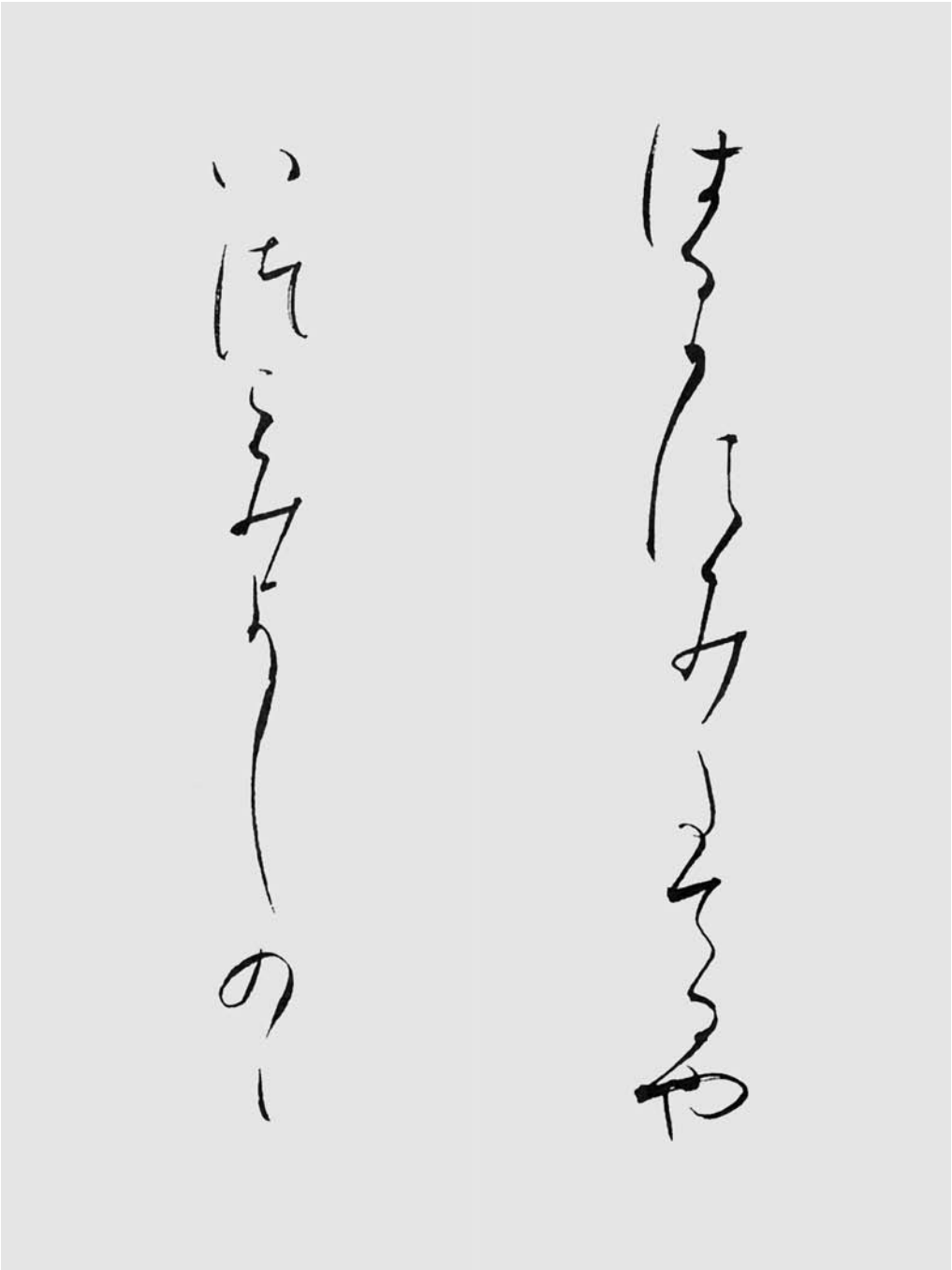


「か(可)ぐ山」



「か(閑)す(須)み」





・一行目、二行目とも中心線を引いて、中心から左右への振幅や文字の位置、大小長短の特徴を把握して書きたい。

「はる」

は

「か(可)す(須)み」

か

「た(多)てるや」

た

「いづ(徒)」

い

「みよし」

み

「の(ゝ)の」

の

はるか(可)す(須)みた(多)てるや
いづ(徒)こみよしのの(ゝ)

研究【研究】

「張猛龍碑」

臨書

釈文 在震

南陽白水人也

※どちらか一体を出品してください。

1月20日必着

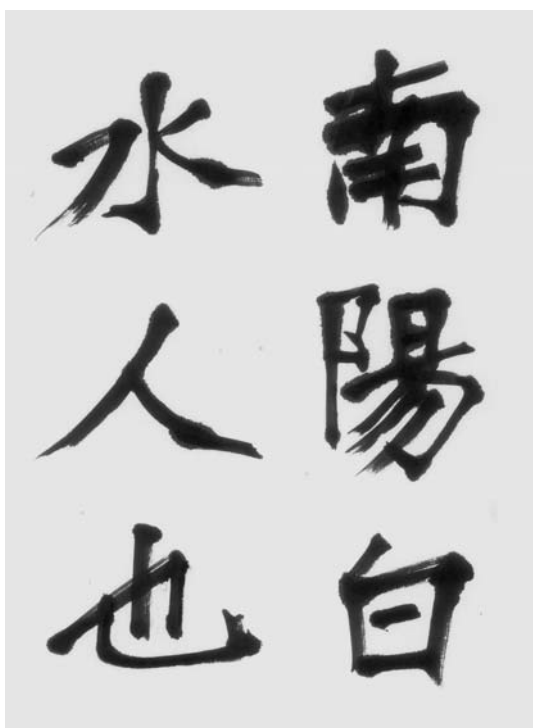
出品券を貼付

入選作のみ発表します



田中節山先生書

杉山暁雲先生書



今月のポイント

- ・墨量多く、スピードのある運筆で書く。
- ・概形と画間に注意する。

今月のポイント

- ・運筆は大きく伸びやかに。
- ・転折、はねを力強く。



松は雪後を経て貞なり。

- ・「松」「経」「後」は偏と旁の大きさ・バランスに気をつけて書きたい。
- ・文字の大小の変化で縦への流れを出す。
- ・「経」はP14参照。

条幅随意【条随】

上條信山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



人はいざ心も(毛)しらず(数)ふる里は(八)
 花ぞ(曾)むか(可)しの香に(二)に(一)ほ(本)ひ(目)け(介)る
 (紀貫之)

- ・単体でくり返し練習し、字形を確認する。
- ・墨量の変化を意識して、二行目は渴筆をいかしたい。
- ・「も(毛)」「ず(数)」「里」「ぞ(曾)」「香」はP14参照。

祝之
新春之

中学一年規定 【学毛】

露崎玄峯先生書

雲海
富士山

中学二・三年規定 【学毛】

内藤望山先生書

の正朝月

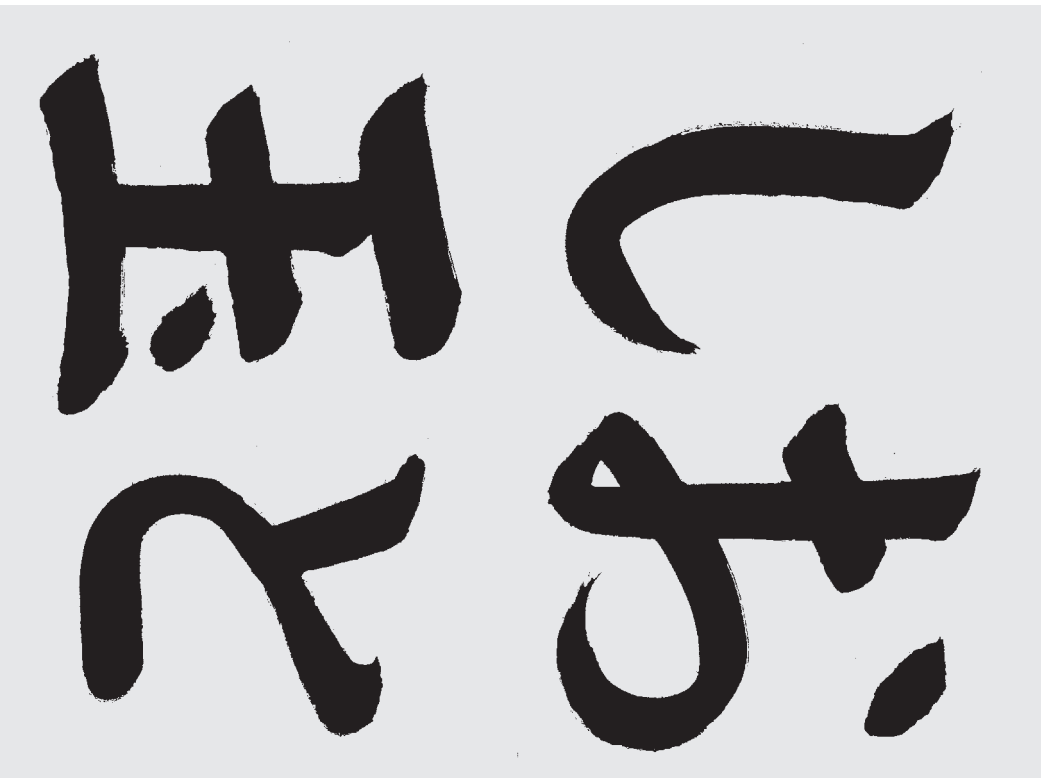
小学五年规定 【学毛】

畑中高山先生書

投全球力

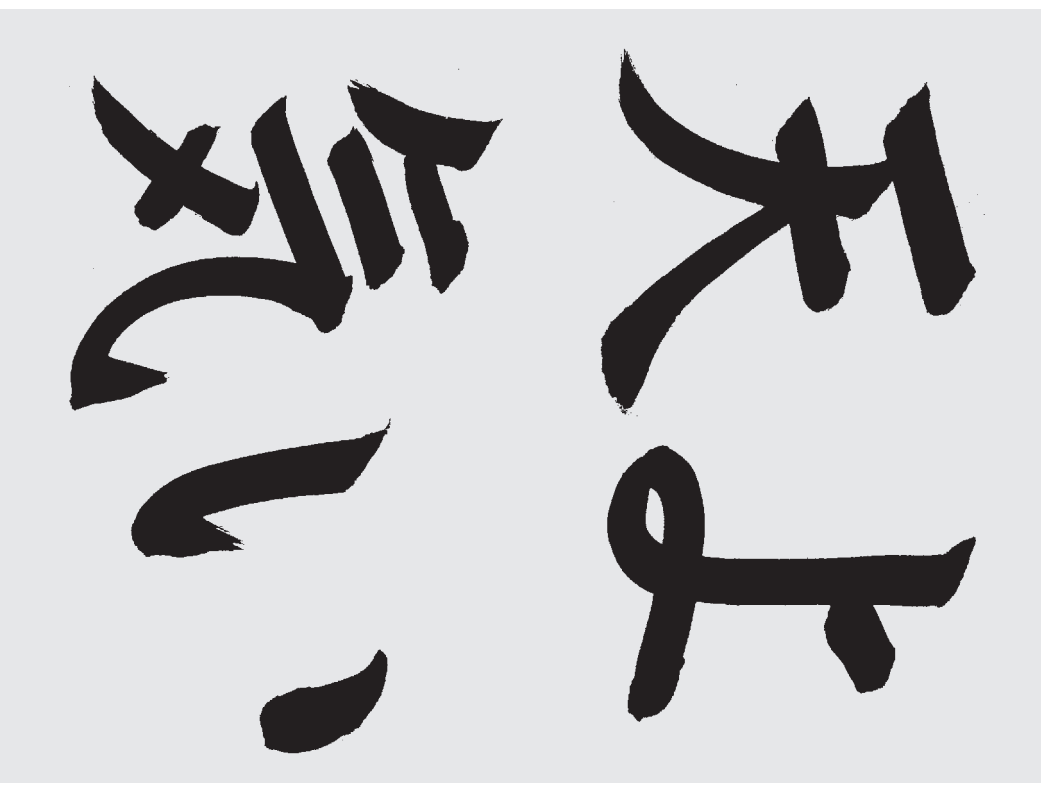
小学六年规定 【学毛】

石丸曉風先生書



小学三年規定 【学毛】

蕪木珠紅先生書



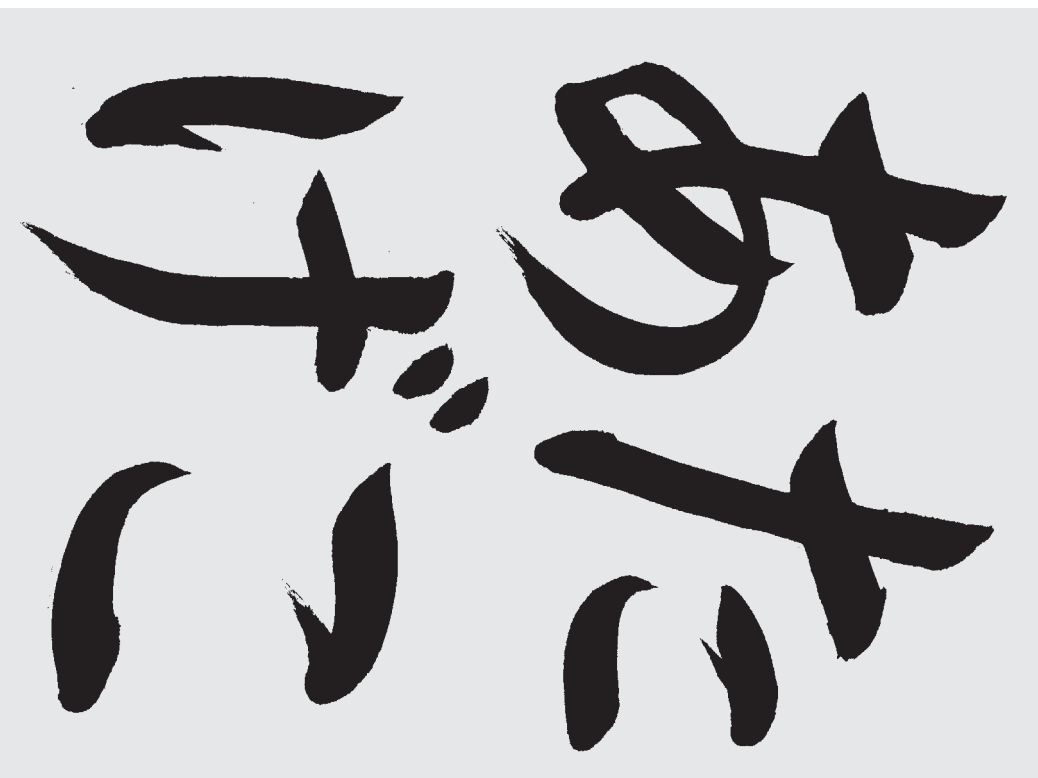
小学四年規定 【学毛】

大澤精光先生書



小学一年規定 【学毛】

竹内墨洋先生書



小学二年規定 【学毛】

渡辺華雪先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生書

樹上に見る花の美しさは(一)後に(二)食うために(三)とる果実よりも却ってより多く人間の胸奥の理想的要求を満たすものである。

樹上に見る花の美しさは、後に、食うために、
とる果実よりも却ってより多く人間の胸奥の理想的要求を
満たすものである。

一般規定【一硬】(級位)

樋口 玄山 先生書

鍋には欠かせない葱。根葱とも書く。
古名は単に、き。アサツキ、ワケギもネギ
の一種であることがわかる。

中学規定【学硬】

荻田 光山 先生書

私たちが日常使っている言葉に
は、中国の古典に由来するもの
が数多くあります。

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	文	小 三・四年 学	黄
小 五・六年 学	門松	中 学	先達

手本解説

・硬筆一般規定(師範・準師範・段位)「実」「満」は左図参照。

実 満

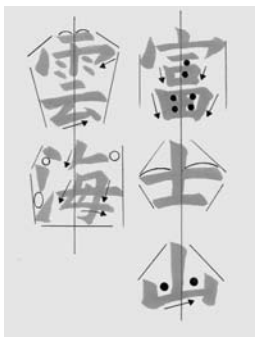
・隷書条幅規定「経」は左図参照。

王 経

・仮名条幅随意 「も」「毛」「ず」「数」「里」「ぞ」「曹」「香」は左図参照。

も 毛 ず 数 里 ぞ 曹 香

学生部規定



中学二・三年

「富」は口・田の左右縦画を内側に向け、「土」は一画目を最大幅とする。「雲」は雨かんむりを最大幅にして云との調和を図る。「海」は一画目の位置に注意し、六〜八画目の方向と角度に注意する。



中学一年

「新」は五画目の横画を左に長く出す。「春」は左右の払いを伸びやかに書き最大幅とする。「を」は一画目の終筆を中心線上で揃えバランスをとる。「祝」は凡の始筆が横画に浅く接する。

小学五・六年規定【学硬】

小 澗 石 峯 先 生 書

日本は北半球に位置し、まわりを太平洋や日本海に囲まれた島国です。

名前 支部 年 級 段

小学三・四年規定【学硬】

大 島 皎 山 先 生 書

元日マラソンの朝。息を深くすってはいた。さあ、出発の時間だ。

名前 支部 年 級 段

小学一・二年規定【学硬】

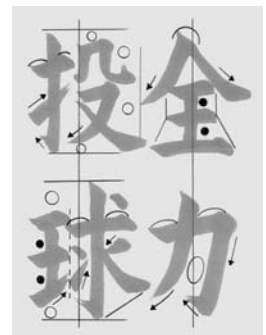
芦 川 臨 泉 先 生 書

が	た	ん	に	か	ぞ	く
で	は	つ	日	の	出	を
に	い	き	ま	す		

なまえ 支部 年 級 段
なまえ 支部 年 級 段

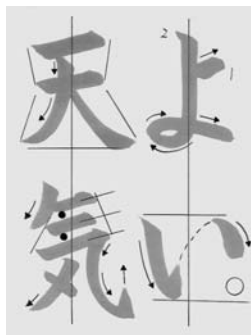
※出品券を貼付して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用のこと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。作品の大きさを下へ18 cmよこ7 cm 小一・二課題↓2.1 cmのマス目の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1 cm巾の野線を引く。



小学六年

「全」は王の一画目をへの中に入れる。「力」の二画目は一画目の横部の中心で交わる。「投」は偏の縦画の位置に気をつける。「球」の偏は右端を揃えて幅を狭くし、求とのバランスを図る。



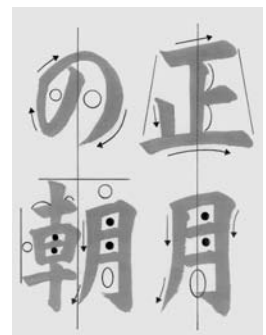
小学四年

「よ」の二画目の結びは横広に。「い」の向かい合う線はやや丸みをつける。「天」は横画の長さに注意し、左右の払いを伸びやかに。「気」は気の横画を等間隔にし、メは中心より左側に。



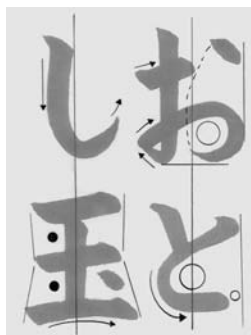
小学二年

「た」の二画目は直線で力強く書く。「こ」は画の長さに注意し筆脈を意識する。「あ」の二画目は左にふくらみを持たせ、「三画目はゆったりと。「げ」は向かい合う線の方向に注意する。



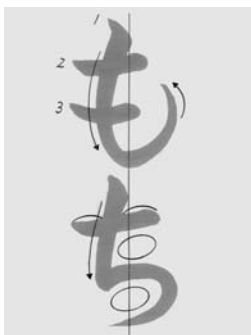
小学五年

「正」はそれぞれの画の長さや間隔に注意する。「月」は一画目の方向に注意し、内側の余白は下部を広く。「の」は中心線上から書き始める。「朝」は横画の方向を統一し、月の上部はあける。



小学三年

「お」は二画目の大回りの角度に注意する。「と」の二画目は腕をしっかりと動かして書く。「し」は書き出しの位置と払い上げる方向に注意。「玉」は三本の横画の長短・間隔に注意する。



小学一年

「も」の始筆と最下部が中心線上にくるようにし、筆順を正しく書くこと。「ち」の一画目は右上がりとし、二画目縦部は左にふくらみを持たせる。

始平公造像記

太和二十二年（四九八年）

今月のテーマ

写実的臨書

中・小字（八字〜十五字程度）

書き方

- ① 下の中より選んで半紙に2行か3行で書いて下さい。
- ② 落款を入れて下さい。
- ③ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。（編集部）

〈文字解説〉

形	蹤
敷	攀
葉	齡



夫靈蹤□啓。則攀宗靡尋。容像不陳。圓崇之必□。圓以真圓□於上齡。遺形敷于下葉。暨于大：

松本市美術館便り

作家と展覧会（後編）

上條信山記念展示室 令和二年十一月十七日（火）
 令和三年三月三十一日（水）



「月在天心」と上條先生（第38回謙慎書道展）

季節ごとに巡りくる展覧会（公募展など）は、作家にとって日頃の成果を発表する場であると同時に、気持ちを切り替えて次の制作へと向かうステップにもなっています。一方、節目の個展ともなれば、作家が歩んだ足跡を一堂に展観するのに加え、多様な表現や大作への挑戦も必要となることでしょう。

今年度、上條信山記念展示室では、作家がライフワークとして出品した展覧会ごとに特集し、前編と後編に分けてご紹介します。

後編は、新春恒例の「現代書道二十人展」と春先に開催している「謙慎書道展」です。年代により新たな表現を模索し続けた創作の軌跡と情熱を肌で感じていただければ幸甚に存じます。

上條信山記念展示室 2020年11月17日（火）～2021年3月31日（水）

No.	作品名	制作年	年齢	寸法 (cm)	主要展覧会
1	技 入 神	昭和46年 (1971)	64	115.0×66.5	第15回現代書道二十人展
2	将 飛	昭和52年 (1977)	70	127.3×62.8	第21回現代書道二十人展
3	印 々 泥	昭和55年 (1980)	73	90.6×165.5	第24回現代書道二十人展
4	画 沙	昭和55年 (1980)	73	88.8×176.0	第24回現代書道二十人展
5	遊 月	昭和57年 (1982)	75	66.0×140.6	第26回現代書道二十人展
6	芭 蕉 句	昭和58年 (1983)	76	137.0×22.6	第27回現代書道二十人展
7	風 雪	昭和58年 (1983)	76	69.0×139.5	第27回現代書道二十人展
8	雲 開	昭和59年 (1984)	77	137.5×67.5	第28回現代書道二十人展
9	臥 石	昭和60年 (1985)	78	125.0×65.0	第29回現代書道二十人展
10	月 在 天 心	昭和51年 (1976)	69	67.0×233.0	第38回謙慎書道会展
11	水 心 玉 壺	昭和63年 (1988)	81	69.4×247.3	第50回謙慎書道会展
12	天 星	平成6年 (1994)	87	82.4×166.5	第56回謙慎書道会展
13	世 誉 不 足 慕 唯 仁 為 紀 綯	昭和37年 (1962)	55	224.4×32.8×2幅	第12回謙慎書道会展
14	地 靈 人 傑	昭和43年 (1968)	61	212.2×67.2	第30回謙慎書道会展
15	空山泉落松窓静 閑地竹生春日遲	昭和44年 (1969)	62	236.0×62.9	第31回謙慎書道会展
16	題竹五絶二首	昭和53年 (1978)	71	227.2×69.0×2幅	第40回謙慎書道会展



風雪



題竹五絶二首

<休館のお知らせ>

松本市美術館は、改修工事のため令和3（2021）年4月から令和4（2022）年4月中旬まで約1年間の休館を予定しています。ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

改組新第7回 日 展

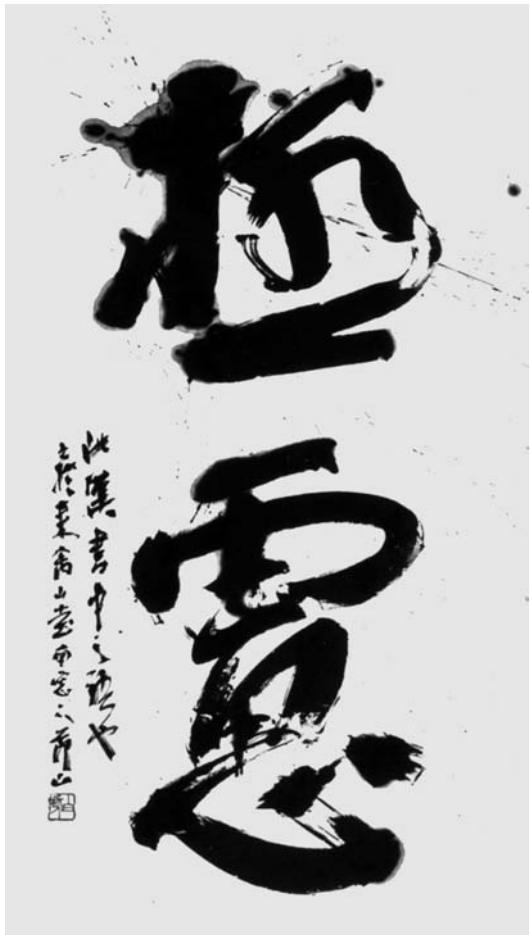
◆会 期 (東京展) 令和 2 年10月30日(金)~11月22日(日)

◆会 場 国立新美術館



白樂天詩 王昭君

會員・本年度審査員 内藤望山



極慮

特別會員 田中節山

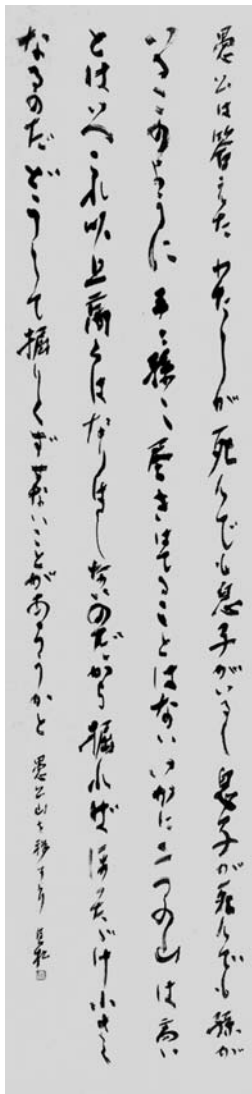
思 歸

無鑑査 山口啓山



愚行山を移す

新入選 小柳貞松



改組新第七回日展の審査所感

内藤 望山

この度の日展第五科の出品数は八四三一点であった。入選数内訳では漢字額作品三四五点、帖巻一二六點、調和体額作品九二点、帖巻四〇点である。今年も例年通り大変厳しい審査となり、入選率は一二、七%という過酷な結果となった。十一日間の審査期間は、まさしく一喜一憂の連続で胃の痛む思いであった。

書象会公募出品数は一三九点、入選者二八名には拍手を送りたい。残念にも選外となった方々には、更に力を蓄えて捲土重来、目的を果たしてほしいと思う。漢字額作品では膨大な作品群を六回も審査されたが、なかなか決着がつかず、進行係の発案で一点ずつ慎重に鑑識して規定の入選数に導いた。

他の会派では読売書法展と同時に日展作品の錬成を開始したと聞き一驚した。書象会でも日展対策は検討されているが、なかなか具体的な方向は定められていない。各展部で早急に講じてほしい。

審査会に出席して本会の作品で感じたことは、一、三行の中字数作品は迫力を欠く。濃墨で筆力の効いたための線で剛健熾烈に運筆して自己を前面に押し出してほしい。四、五行以上の多字数作品の方が多くの評価を受けた。筆力とスピード感で上下の貫通力を生かして書象カラーを發揮したい。

日展は入選率においても、出品作品の質の高さにおいても、他の書展とは比較にならない。それだけに書き込んで、書き込んで完成度の高い作品を出品してほしい。

黃庭堅詩

新入選 佐藤京香

子舟詩書客畫手脫前筆挾袂拍其肩餘力左右逮摩挲造化鑪
爐管鬼神會光煤墨亂葉與世任者背看君田廬筆猶喜漢儀
在歲寒十三本與可：追記小山蒼蒼昔西突下謝憎愛瓜斜蕪雨
垂意出筆 墨外吾聞此一源戰勝自十倍柴薪轉裁賦生先付交
態狂公賦七茅勿用嗔喜對此物管更工請以小爾大 京香

故人を想う

新入選 佐藤茜沙

故人の故し居し拙り居し存す風物おの違ふ海より村亭語飲たけり言はさる更に
余燭を前より黄昏と照らす小塚春を理より翠微に近し嬌魂英彦の世に傍り
遊く寒食まことの同懐ふしゆ衣を：舞衣に似たり北年より甚くは
唇の唇よりと指しまふ却りて新陰の流衣に上りて雲ふ興に東より拙ゆ下朝は衣
門下閉し水心啼鳥も亦たまにうとと稀なり江辺の残雪寒霜を閉じし雲に梅花を恋う
花はよきに衣を解りて却りて今宵陽城の月を懐く想う想う人な酔を踏むと帰る 茜沙

蘇東坡詩

新入選 渋谷静秀

空師來寶山一住十五秋讀書常閉戶客至不舉頭去年造
其室清坐忘百憂我初無言說師亦無對酬 有來復扣門空
房但聽鐘去已滅無餘薪 畫文不畫却疑此室中 嘗有
斯人所不遇孰能若 事過吾何求 蘇東坡詩靜秀

暮耕上平田
借問津者
寧知沮溺賢
春池深且廣
會待輕舟回
靡一綠萍合
垂楊掃後開

王維詩

新入選 齋藤優月

蒼然

新入選 杉山窓影

江天晴更怒風柳
 江樓雁識望山晚
 知秦對秋波涼多
 羽辭零落軍司
 豈復平生意蒼然
 南社州

蒼然

塩州に城く

新入選 早川雅節

城在五原上頭蕃東節度鉢闌布忽見新城當要路全鳥飛傳贊普聞
 建牙傳箭集群臣君臣儲面有憂色皆言勿謂唐人自築塩州十餘載左
 靴裘不犯塞畫牧牛羊夜捉生長去新城百里外諸邊急警勞成人唯
 此一道無煙塵靈夏潛安誰復弁秦原時通何處見鄭州驛路好馬來
 長安藥肆黃蕃賤塩州未城天子憂德宗按圖自定計 雅節

李太白詩

芦川臨泉

久相之レク在ク心音来レバ竟ニ誰カ陳ベシ風曼草ニ在ラレ戦國ニハ新機多ク龍虎相咬食シ兵
 戈狂暴ニ速ニ止替何ノ彼花ヲカ然然人ヲリ起シ中極其類波ノ激シ流ヲ固ク落トレテ浪リ去レ度
 興為變スト雖ニ憲章ニ云海ニ建安ヲリ中ノ口ヲ崎習展カト人カニ是ヲ大聖代元古ニ後ト衣ヲ重シク海臭
 ノ重ク岸ヲ促然ノ腐ト運ニ来シク其鋒ヲ躍ラシ人又復相如映トシテ乘是秋風ニ羅ナル我カ表ハ何止ニ右
 ノ輝ク重キテ十卷ニ秋ヤカシ聖ヲ希シテ如シ止ヲ有ス六華ヲ獲麟ニ絶クシ山水ノ



還源

大島 皎山

王禕詩

九月忽又暮
吾行既白傷秋兼
人共老
愁與路俱長
聖果迎霜
赤圓於帶
一雪黃
故人相
慰藉日晚引臺
二情詩
張元

石丸曉風

橫
遂

橫遂所入夜
所樓小庭
月色
近中秋
涼風吹
庭樹
影
如化
碧雲
少
小
光

荻田光山

山
寺
晚
鐘

美人香何愛
魚、隔和以逗
雲外鐘日
暮
暮山
些
夜
郎
居
社
竹
清
一
聲
空
自
落
未
看
沙
背
新
一
色
紫
一
尺
二
在
光
陰
和
和
光

大
澤
梢
光

燈影初搖書味永
桐陰漸薄月光多
倚楹脈脈渾無那
坐看長空轉絳河

小立階前秋氣清
空透風露欲三更
月明微見鴻飛影
夜靜常聞犬吠聲

張廉卿詩（部分）

武原幽節



小柳 貞松

恩返し

書象会、恩師、家族にやっと恩返しができ大変嬉しく思っております。

この度の改組新第七回日展で入選することができ書象会の諸先生方、又直接ご指導下さいます中村巍山先生に心より感謝申し上げます。

いつの日からか入選することが目的になっていないだろうか？という自問自答の日々が何年も続いていました。結果を出す事は勿論大切なことです。しかし、何の為に書道が続いているのかという迷いが消え、書く事が好きで楽しくてその喜びを表現しようと思えるようになり、大変心が明るく楽になりました。今も尚、理想に現実が追いつかない状態ですし、熊本という遠隔地でなかなか上京もできませんが、今後も楽しく努力精進して参ります。

皆様に感謝

この度は思いがけず入選の栄を賜り、驚きと嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。これも偏に田中節山先生を始め、諸先生方、日頃優しく熱意溢れるご指導いただいている市澤静山先生、温かく見守ってくださる恩田静月先生の御指導のお陰と心より御礼申し上げます。先生方や良き先輩方、お仲間の皆様に巡り合い、支えられ、励まされ、救われて、今まで続けてこられました。本当にありがとうございました。

今回の巻子は二回目の挑戦で、悩み、苦しみながらも書く事に夢中になりました。でも、夢の日展が現実となるとは思いませんでした。もしかししたら、亡き母が書道の神様にお願したのかもかもしれません。これからは、更に精進して参ります。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

新たな気持ちで

この度、入選の栄を賜り、田中先生、市澤先生、そして日頃ご指導頂いております内藤先生はじめ諸先生方に深く感謝申し上げます。私にとりまして日展は常に見上げるべき存在で、手の届かない目標と思っておりましたが、今回「入選」という報せを戴き、驚きと喜びでいっぱいです。振り返れば、京都・名古屋と遠隔地での勉強が長かったこともあり、熱心にご指導下さる先生方のご期待に添えない時期もありました。

まだまだ道は遠く、今はその端緒についたばかりと実感しております。これからもしっかりと書と向き合い、新たな気持ちで精進してまいりたいと思っております。変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。励まし、見守ってくださいました京都の師、宮崎京楓先生をはじめ、諸先輩方、書友の皆様にも心よりお礼申し上げます。



佐藤 京香



齋藤 優月



早川 雅節



杉山 窓影



渋谷 静秀



佐藤 茜沙

驚きと感謝

この度は思いがけず日展入選の栄を賜り、大変有難いことと深く感謝しております。
 入選は遙か先の夢の夢と思っていたので「まさか私か」と、驚きと感激の反面、身が引き締まる思いです。これも偏に、未熟な私を厳しくも温かくご指導下さった中村巍山先生をはじめ、田中節山先生、市澤静山先生、内藤望山先生、諸先生方、諸先輩方のお導きの賜と心より感謝申し上げます。そして今日まで書を書いてこられたのも、理解し常に支えてくれる家族のお陰と感謝しております。
 まだまだ自分の作品に自信が持てず迷うばかりの日々ですが、「書は一生の稽古なり」「継続は力なり」の信山先生の言葉を胸に、尚一層精進して参ります。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

感謝を胸に新たなスタート

改組新第七回日展において入選の栄を賜り、心より感謝申し上げます。大きな喜びの一方、日が経過するにつれ、身の引き締まる想いが募るばかりです。
 私が書をはじめた小学二年生の頃から現在に至るまで、多くの書象会の先生方とご縁がありました。基礎をご教授下さいました恩田静月先生、高校では武原幽節先生、大東文化大学では田中節山先生、そして市澤静山先生。先生方より温かいご指導を頂戴して参りました。この度の入選は言うまでもなく、諸先生方のご指導と、お稽古場の皆様や家族の支えの賜物です。これらの感謝の想いと共に、今回の入選を新たなスタートと捉え、今後一層古典臨書や信山書法の探究に励んで参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

念願の新入選

この度は日展入選の栄誉を賜り誠に有難うございます。長年に渡り御指導いただいた諸先生方、励まして下さった先輩、お仲間へ感謝の気持ちで一杯です。私は会場の自分の作品が未熟で不勉強である事を痛感させられました。
 信山先生のお言葉の「平凡に書く」ことを念頭に錬成したつもりですが、そのことの難しさを知った制作でした。これを機に先生方のご指導を胸に刻み、更に精進を重ねてゆきたいと存じます。今後共よろしくお願いいたします。

心より感謝、そして恩返し

この度の改組新第七回日展におきまして、初めて入選の栄を賜り、感謝の念に耐えられません。先生方の日頃のご指導の賜物と思っております。
 幼少より祖母から書の手ほどきを受け、大東文化大学にて田中節山先生と出会い人生が変わりました。ゼミ長を務めさせて頂いたり、高校教員となってからも様々なアドバイスを頂き、人間としても成長できたと思います。
 今後とも精進を重ね、お世話になった全ての方々に恩返しをしてまいります。御指導の程宜しくお願い致します。

第45回泰山門書展 併催 春季選抜学生書道展

会期 十一月二日(月)～三日(火)
会場 笠原学園本部
主宰 笠原泰山

第45回泰山門展、併催選抜学生書道展は本年五月の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため十一月二日、三日に開催いたしました。会場も「えんぱーく」から、笠原学園本部にて展示開催することとなり、学生部の表彰式、展覧方法、一同に会しての講評等、時節柄様々な制限はありましたが、無事開催できましたこと大変嬉しく、書象会をはじめ関係者の皆様には感謝申し上げます。学生部六八点、高校部一五点、一般部四四点と、中央には上條信山先生の「吟龍虎嘯」、宮島詠士先生の臨書作品、賛助出品の上條賢山先生の「江月照我心」の御玉作で花を添えていただきました。

学生部は、選抜された半切作品四八点、八切り作品二〇点、高校部は半切に臨書二行を徹底して仕上げました。一般部は、県展並びに中央展に向けて力をつけるべく二行、三行に取り組み出品。一点一点基礎を重視して制作。その努力が個性となつてにじみ出た作品になったと思います。初心者如初出品も含めて頼もしく心強い限りです。若い力を更に伸ばすよう来年の開催に向けて、同意を新たにいたしましたところですので、

ありがとうございます。

(渡辺泰琴記)



整然と作品が並ぶ会場

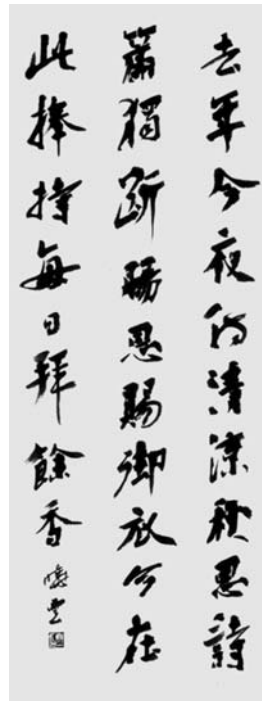


力強い学生の優秀作品

第五十一回 玄武書道展

会期 十一月十八日(水)～二十四日(火)
会場 大阪近鉄百貨店(あべのハルカス) 美術画廊(11階)

杉山曉雲



第十三回 葛飾現代書展

会期 十一月二十一日(土)～二十七日(金)
会場 かつしかシンフォニービルズ本館 2Fギャラリイ

露崎玄峯



小川仙草



正師範紹介



幸せな出会い

春玖支部

横山京節

この度は、正師範の認定をいただきましてありがとうございます。小学生的頃から書道が好きで、いつかは本格的に学びたいと憧れ続けていました。九年前に近くのカルチャー教室に申し込んだところ、田中節山先生にめぐり合うことが出来、あたたかく熱心なご指導を賜り、ここまで続けることが出来ました。素晴らしい先生と「書家会」に出会えたことを幸せに思っております。これからも「書は一生の稽古なり」の言葉を大切にしつつ学び続けたいと思います。ご指導どうぞよろしくお願い申し上げます。

継続は力なり

土筆支部

笹森光蘭

この度は、正師範のお許しをいただき心より感謝申し上げます。継続は力なりと上條信山先生の言葉があまりですが、諦めずにひたすら努力していくことが一番の近道だと悟りました。これも偏に左ききの私を辛抱強く指導してくださった宮寺瑠光先生のおかげです。重ねて御礼申し上げます。又、展覧会でご指導くださった内藤望山先生、合宿でお世話になった先生方にも心より感謝申し上げます。正師範はいただきましたが、まだまだ鍛錬の必要性を感じております。これからも御指導をどうぞよろしくお願いいたします。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

さらなる目標へ

高社支部 中三

上原彩聖



小学三年生から書道を習いはじめ、今回特待生になることができてうれしいです。次は硬筆でも特待生になり、目標の「二冠」を達成できるようにこれからも頑張っていきます。支部長先生より一言、部活に加え、書道以外の習い事もある中、良く頑張りました。真摯に向き合ってきた結果ですね。



ついに二冠達成!!

湊支部 中三

務台峻也

兄弟で小学生の時から書道が続けてきました。今回二人で二冠を達成できたことがとてもうれしいです。今までご指導いただき支えてくださった先生に感謝し、これからも上達できるように頑張りたいです。支部長先生より一言、二人で休まず稽古を続けた結果が毛・硬筆同時合格の快挙となりました。目標の二冠達成おめでとう。

念願の特待生

湊支部 中三

務台敦也



小学生の時から続けてきた書道で目標だった特待生の二冠を達成できました。これまで、ご指導していただいた先生方に本当に感謝しています。ありがとうございます。支部長先生より一言、兄弟で二冠達成おめでとう。毛・硬筆同時合格は努力の勳章です。今後も更に上を目指し精進しよう!

部活と書道

瑞祥支部 中三

稲元 碧



運動部に所属している私にとって、書道と向き合える時間を作るのに苦労しましたが、コロナでのお休みにじっくり取り組むことができました。先生には通信で何度も丁寧な添削していただいたことを深く感謝いたします。支部長先生より一言、初挑戦で毛筆特待、おめでとう。様々な困難が押し寄せ、強い意志で頑張り合格して良かったね。



感謝

高社支部 中二

尾池 文

小学校一年から書道を始め、念願だった特待生になれて嬉しく思います。八年間書道続けてこれたのは、指導してくださった先生のおかげだと心から思います。本当に感謝しています。これからも努力し、頑張ります。支部長先生より一言、小さな手で筆を持ち、お行儀良く書いていた一年生の文ちゃんを思い出します。私もとても嬉しいです。

習字が好き

若竹支部 中二

福島葉月



小学一年生から、虎井暁鐘先生にやさしく、丁寧に教えていただき、習字が好きになりました。今は、信一先生、咲華先生にご指導いただいております。特待生になれたのも先生方のおかげです。ありがとうございます。支部長先生より一言、合格おめでとう。部活動と両立しながら本当に努力し頑張りましたね。虎井先生にも報告しましたよ。

努力

倭支部 中二

土屋優音



今回、習字を始めた時からの目標、特待生に合格することができました。中学になって勉強や部活が忙しくなってきたけど、あきらめずに努力してきて良かったです。支えてくれた先生、家族に感謝しこれからも頑張ります。支部長先生より一言、明るく活動的な中学生です。クラブ活動にも真剣にとりくんでいます。将来が楽しみです。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)



目標達成

若竹支部 中三

小林 久琉美

私は、これでやっと、毛筆と硬筆の両方で、特待生になることができました。目標を達成できたのは、毎週、教室に行くと、一人一人にしっかり指導してくださる、先生方のおかげです。感謝をしっかりと伝えたいです。
支部長先生より一言 目標にしていた二冠達成おめでとう。毎週休まずコツコツとよく頑張りました。先生も嬉しいです。

特待生になって

珠悠支部 中二

水口 夏葵

小学生の頃から始め、「特待生」という大きな目標を達成でき、とても嬉しいです。これまで指導していただいた先生に感謝の気持ちでいっぱいです。次は硬筆でも特待生になれるよう、頑張っていきたいです。
支部長先生より一言 いつも根気よく熱心に取り組んでいる姿勢は素晴らしい。今後とも着実に夢を叶えていって下さい。



目標

若竹支部 中二

仲宗根 椿

私は、幼稚園の時から書道をはじめ、九年間特待生を目標にやってきました。今回三回目でやっと受かってとてもうれしいです。これからは、新たな目標に向かって頑張っていきたいと思えます。
支部長先生より一言 特待生試験三回目、あきらめずに粘り強く頑張りました。次の目標に向かって頑張れ、合格おめでとう。

二冠達成

芙蓉第五支部 中二

唐川 楓香

毛筆に続き、硬筆も特待生に合格することができてとてもうれしいです。中学生になり、部活やクラブで忙しくなりましたが、続けていて本当に良かったです。指導してくださった先生ありがとうございました。
支部長先生より一言 お姉さんに続き、二冠達成おめでとう。この後、進学に向かって頑張ってください。



目標だった特待生

伊奈支部 中三

腰塚 帆夏

私は小学四年生から習字を始めました。今回、毛筆と硬筆どちらも特待生になることができて本当に嬉しいです。優しく丁寧に指導して下さった先生への感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいです。
支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。いつでも丁寧に書く姿勢が確実に実力となっています。今後とも活躍を期待します。

特待生

松戸支部 中三

杉本 楓真

これまで私は、サッカーと書道の両立を目指して取り組んできました。サッカーは「動」ですが、書道は「静」です。この「静」のおかげで集中力が身に付きました。特待生の名に恥じぬように日々精進します。
支部長先生より一言 合格おめでとう。部活との両立は大変でしたね。よく頑張りました。御両親の心からの応援のおかげです。



感謝を忘れずに！

湊支部 中三

春山 葵来乃

私が習字を始めて4年。他の人より始めるのは遅かったけれど、特待生に合格でき、うれしく思います。今回、合格できたのは先生の指導のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、これからもがんばりたいと思います。
支部長先生より一言 念願の特待生合格おめでとう。中学生になり部活と両立、最後の挑戦で見事達成、よく頑張りました。



感謝

峰支部 中三

高橋 優月

特待生合格の通知が来たとき、私はとても大きな喜びを感じました。中学に上がって思うように書く練習ができなくなっても変わらずご指導して下さいました先生や支えてくれた親には感謝を忘れずに今後も頑張ります。
支部長先生より一言 合格おめでとう。中学生最後で良い結果となりとても嬉しいです。これからも頑張ってくださいね。



特待生になって

高社支部 中三

山本 沙弥

今回、特待生に選ばれて驚きと嬉しさの気持ちでいっぱい입니다。これも、時には厳しく時には優しく真剣に指導して下さいました畔上先生のおかげだと思います。これからは特待生としての自覚を持ちながら頑張りたいです。
支部長先生より一言 おめでとう。集中して良く頑張りましたね。この結果が力となり更なる飛躍に繋がりますように。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

支えてくれた人に感謝



湊支部 中三
五十川 璃音

私は小三から習字を始めました。ずっと念願だった特待生になることができました。特待生になれたのは自分の努力もあるけれど、一番は先生方、両親、仲間の支えがあったからです。本当にありがとうございます！

支部長先生より一言 特待生合格おめでとう。姉妹で熱心に稽古した努力の結果です。妹さんの良いお手本になるでしょう。

感謝



高社支部 中一
清水 麻央

私は、特待生になることを目標に書道が続けてきて、今回、特待生になれたこと、とても嬉しく思います。ご指導して下さいました先生に感謝の気持ちを忘れずに、硬筆も特待生になれるよう努力していきたいです。

支部長先生より一言 お姉さんお兄さんに続き、清水家三人目の特待生。素晴らしい事ですね。是非一冠を応援しています。

頑張る！



伊奈支部 中二
谷口 心音

私は、左ききを直すために始めた硬筆。特待生に合格するとは思わず、とてもうれしです。ここまでこられたのは、先生や家族のお陰です。毛筆でも特待生を目指し、頑張りたいと思います。

支部長先生より一言 硬筆合格おめでとう！小さい頃から右手ですと頑張ってきましたね。努力の証です。毛筆もファイト！

目標達成



伊奈支部 中三
高木 涉 聖

私は少し前に硬筆の特待生になり、目標だった毛筆の特待生になることができてうれしいです。今後の生活でも書道で学んだことを忘れないようにしていきたいです。本当にありがとうございます！

支部長先生より一言 二冠達成おめでとう！「頑張った結果」が出ました。この努力が今後少しでも役立つことを願います。

継続は力なり



長寿原支部 中三
伊東 真緒

私はスポーツと書道の両立を目指して頑張ってきました。目標としていた特待生になるまでの道程はとても長かったですが続けて来て良かったと思います。指導して下さいました先生に感謝しています。

支部長先生より一言 長い間スポーツと書の両立で大変でしたね。念願の特待生合格おめでとうと心から申し上げます。

目標



有穂支部 中二
新田 春花

私は、小学三年生のころ習字を習い始めました。目標であった「特待生」になることができて、とても嬉しかったです。これからは、硬筆でも合格できるように頑張りたいと思います。

支部長先生より一言 がんばり屋の春花さん。おしゃべりもせず、いつも黙々と頑張る姿は、皆の良いお手本になっています。

二冠達成



有象支部 中三
寺井 愛

ずっと憧れだった特待生を硬筆と毛筆、両方達成できて嬉しく思います。小学一年生から九年間続けてきた習字。これからも、楽しく続けていきたいです。

支部長先生より一言 二冠達成おめでとう！文字に対する観察力も人一倍強い愛さん。これからも楽しんで下さい。

感謝



高風支部 中三
田辺 千尋

今まで目標にしてきた特待生になれたのは、部活や勉強で忙しくても一生懸命教えてくださった先生のおかげだと思えます。本当にありがとうございます！

支部長先生より一言 何事にも熱心に取り組む千尋さん。将来を楽しみにしている仲間です。健やかな成長を期待します。

勢いに乗って



月支部 中三
三戸 悠聖

保育園児の頃にお兄ちゃんと一緒に始め、ようやく硬筆、毛筆ともに特待生になることができました。ここまで続けてこれたのも先生や両親のおかげです。この勢いに乗って、受験も頑張ろうと思います。

支部長先生より一言 たくさん書き込んで獲得した二冠。その努力とあきらめない心をずっと大切にね。おめでとう！！

少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

練馬支部 小二 古俣 茉由



太くて元気な文字を書くと、毛筆硬筆共に一段と上達してきました。スイミングや鉄棒、工作が得意です。将来の夢は、パティシエになることです。

大阪支部 小四 三平 清加



おばあちゃんとお姉さんと始めた清加ちゃん。おとなしく静かに書いていますが、作品はとももしっかり書けています。ピアノも習っています。

龍文支部 小五 鈴木 悠花



笑顔で沢山の習い事の話をしてくれる悠花ちゃんは走るのが速くダンスが得意です。甘えん坊としつかり者の両面をバランス良く持つ魅力的な女の子。

若松支部 小五 松田 和薫



クラスでは、自分から積極的にお手伝いをして、思いやりのある和薫さんです。バレエ、ピアノと書道は、自分の納得いくまで努力しよい作品を作ります。

宮川支部 小六 丸田 桃香



高学年になってゆっくり、丁寧を書くようになった。この頃は低学年の生徒の手下になっている。きっと他のことにも力をつけ、立派なリーダーになるのも近いと思う。

往郷支部 小六 山崎 康心



頑張り屋で仲の良い三人。兄はサッカー、妹二人はピアノと習字を両立させている。ご家族の送迎に感謝しながら、更にファイト！

ひまわり支部 小四 小口 遥花



好きなことは走ること、庭で遊んだり、家の近くの湖畔端に行ったりします。家では卵料理を作りお手伝いもします。丁寧な作品を作る遥花さんです。

名東支部 中二 堀 開耶



ハキハキと自分の意見を言えるしっかりとした印象の開耶さん。中学校ではクラス委員とテニス部で活躍。小二から始めた習字は特待生を目指し頑張っています。

光ヶ丘支部 小六 滝田 葵心



生徒会副会長のあちゃん。ミニバスケが大好きで、家の前にリングを取り付けて毎日努力しています。早く試合ができると思いますね！！

美耶支部 中二 鶴田 唯



小学五年生から急に書道をやりたいくなって入会。素直で明るい唯さん。友達と楽しく学んでいます。学校では美術部、将来の夢は只今模索中だそうです。

伊奈支部 小四 猪股 晴貴



とても元気で明るい晴貴くん。最近では理解力が更に高まり、それが字にも結びついています。習い事も沢山しており今後も様々な分野で活躍を期待しています。

光ヶ丘支部 中二 小林 有衣



姉のゆいさんは水泳部。妹のあきさんは陸上部。時には家族でテニスを楽しんでいます。忙しい部活動の合間を縫って教室に通っています。頑張れ！！



△隷書条幅▽ 評 荻田 光山

島村霞菫 貫通力あり。遅速緩急の変化に富んだ作。

百瀬白水 基本に忠実で全体的にまとまった作品。

齋田昌静 伸々と雄大で豊かな線と動き見事。

遠藤翠雅 送筆を効かせ腕の動きの良い秀作。

春日皓静 墨量が豊かで躍動感のある作品。

上條賢山 隸意があり、鏗度のある作品。

高田齋楓 奥深い線質で味わいのある作品。

藤澤竹虹 字形が整い力強い線質の作品。

△条幅随意▽ 評 小淵 石峯

浅井菫風 力強い線で貫通力、線の冴えあり。

大賀霞泉 太い線で大担に運筆し調和を保っている。

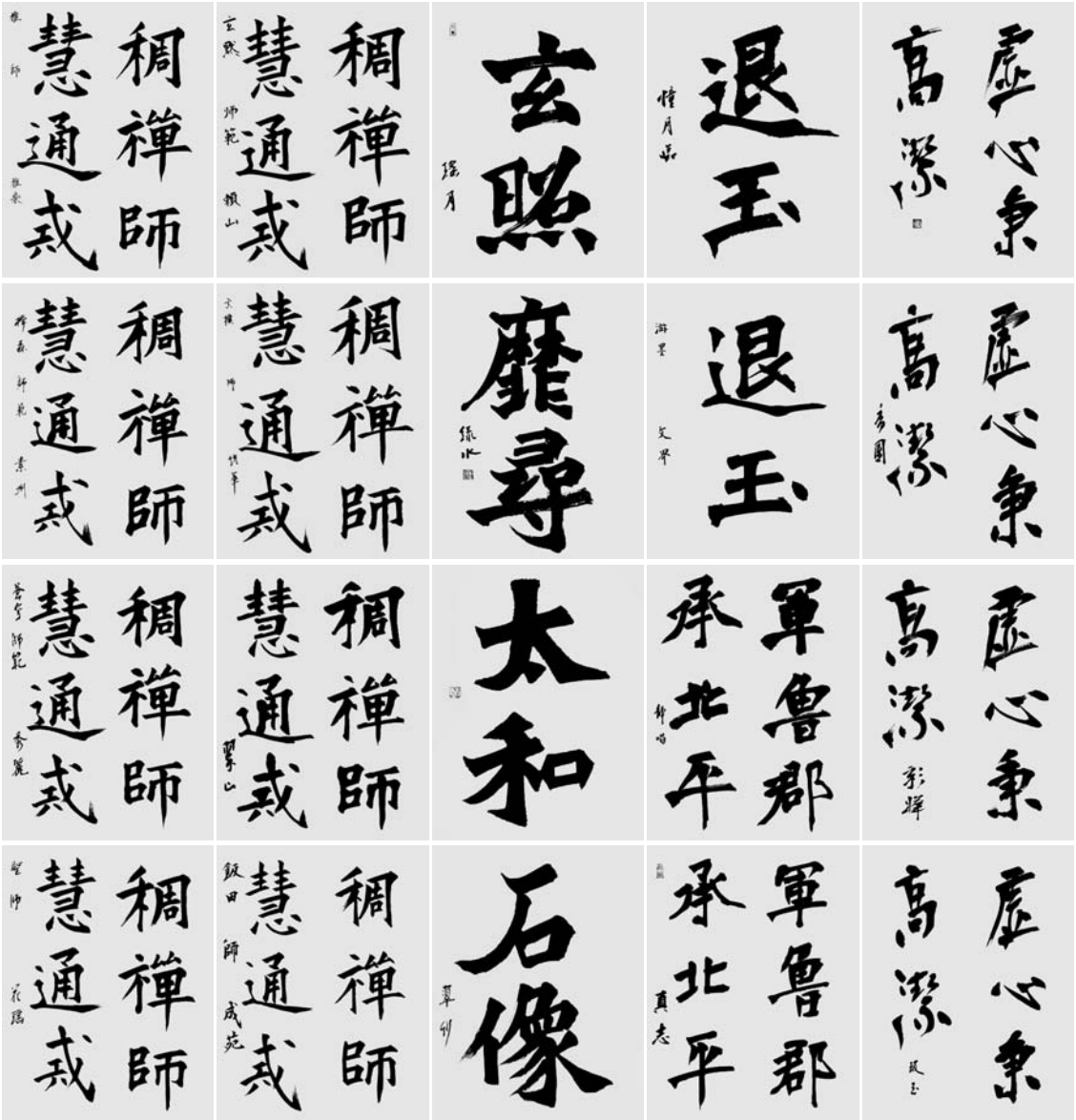
高平光紗 洗練された線で軽快に筆が動いている。

△通信条幅▽ 評 大澤 梢光

倉谷聡月 直線的な鋭い表情がよい。

藤井静素 全体感よく落ちついた作品となった。

平野壺桜 筆力の効いた線質で軽快感に富む作。



基本課題

評 荻田 光山

佐藤茜沙 軽く絶妙なタッチと力強さの混じる秀作。
後藤香園 布置がよく、文字構造も広く、豊か。
木本彩暉 点画の運筆がたしかで、安定感ある佳作。
大村玻玉 やや小ぶりだが、縦への貫通力が見事。

研究課題

評 市澤 静山

柄澤憧月 線の切れの良さがよく凛として響く作品。
周藤文界 伸びやかな美しい線。二字の調和も立派。
小田切静唱 線質よく古典の特長をよくとらえている。
小林真志 品良く線も自然な書きぶりで魅力がある。

古典課題

評 鈴木 草影

金澤瑠月 線の強さを写実を通して表現した秀作。
青柳緑水 形を追求しつつ、二字を見事にまとめた。
金山雨虹 点画の強調と力強さを徹底して写実した。
竹野翠紗 素直に文字造形を写し取るうとした佳作。

師範部

〈楷書〉

評 柳澤 玄嶽

秦 頼山 緊張感の有る凛然とした格調高い秀作。
杉本統華 直線的で軽快な線。背勢構造揺るぎ無し。
林田翠山 強靱な線質で墨痕鮮やかで字形に余裕有。
下平成苑 伸びやかな直線に迷い無い。
吉田雅染 鍊度高く豊かで雅味ある作。
市ノ瀬素州 落款も含め全体のまとまりが見事な作。
中田秀麗 濃墨ながら腕が良く動き剛健で力強い作。
塚原花瑠 力味のない書きぶりが印象的な作。



田中紗虹 純朴な筆致で悠然たるムード漂う。

井上雅幸 形と線の切れ味が魅力的で艶やかな作。

田島涛仙 冷静沈着な作風で安定感に満ち品格有り。

川島映雪 情感溢れる豊かな作風で腕法も確かな作。

小西琴月 端正な点画でスピード感有る軽快な作。

高橋太一 動きの大きい書きぶりて構造が広い。

松岡馨秀 全体観良く落ち着きのある真面目な作品。

久保田珠悠 丁寧にかかれ、一点一画真摯な姿勢伝わる。

△仮名▽

評 中村 巍山

京 仙 鍊度のある秀作。凛とした響きあり。

邀 月 線質みごとです。格調高い仮名です。

聴 月 形、線ともうまい。カスレ自然だ。

谿 山 自然の流れがよい。連綿も切れがある。

壺 桜 信山流の仮名だ。特に後半のまとめ抜群。

西 光 太めの線で統一され、甘さもあって良い。

湖 亭 淡々とまとめた。線も太く好感あり。

晴 沙 直線で余分な線を省いた切れのある作。

静 翠 潤渇をつけて清澄感あり、秀作です。

茜 草 明るい伸びのある作だ。格調高し。

径 石 線に遅速緩急をつけて作品も厚重だ。

穂 波 真剣にとりくみ、形忠実でよい。

平成中二 源関葵空 絵巻	四年 尾就馬 日向 習字	六年七段 進 美優 伝統工芸	中二 特待 中嶋 彩子 松本城 天守
六年 多賀谷 昂子 市場	四年 四段 上木 明日香 習字	小六 南保 葵音 伝統工芸	中二 大西 希実 松本城 天守
小四 高橋 理彩 歩	小一 たまいこころ ほん	小三 高橋 理彩 月あかり	中二 準七 川手 駿栄 静かな 教室
二年 りく 木	小一 りく ほん	小三 木村 まりの 月あかり	中二 官田 帆乃果 静かな 教室

学 生 部

評 関 香風

中嶋彩子 本文も名前の書き方もすばらしい行書。
 大西希実 筆の穂先を上手に使い、うまくまとめた。
 川手駿栄 墨の使い方がうまく、堂々としている。
 宮田帆乃果 まじめに取り組んでいる姿が浮かぶ作品。
 進 美優 形、線ともすばらしく、みごとな調和。
 南保葵音 ていねいな書き方がよくわかる作品。
 谷川愛美 半紙の中に四字がうまくおさまっている。
 上原侑芽 筆の入り方と止め方がとてもすばらしい。
 尾鷲日向 力強く、太い線がみごとです。
 上木明日香 明るく、さわやかな線が書きました。
 高橋宗也 太く、のびやかに書きました。
 木村麻梨乃 「月」と名前の書き方がすばらしい。
 小口 透 太く、大きく、どうどうとしています。
 山田真優 むずかしい形がともじょうずに書けた。
 玉井心彩 正しいふでづかいでりっぱにかけました。
 大塚碧乃 きもちよく、のびのびかけました。

半紙 随意

評 坂牛 静心

源関葵空 動きのある線。しかも堂々としている。
 多賀谷昂子 集中してていねいな筆運びができた。
 高橋理彩 点画が正しく、形も美しく仕上がった。
 増田莉久 太くりっぱなせんでかけましたね。

このページに掲載された人には書象会より記念の筆をさし上げます。

		二の葉 大田陽菜 軒冕			長華 準一 次 中 津 五 郎 稠禪師 慧通戒
		登内光 軒冕			玄樸 三 段 千 代 稠禪師 慧通戒
		倭 味原京子 軒冕			由美 稠禪師 慧通戒
		松戸利忠 軒冕			上 鹿 二 段 舞 香 稠禪師 慧通戒
		理沙子 軒冕			石 東 準 二 前 地 繪 莉 香 稠禪師 慧通戒
		硯扇 古厩雅子 軒冕			玄 原 初 段 理 五 稠禪師 慧通戒

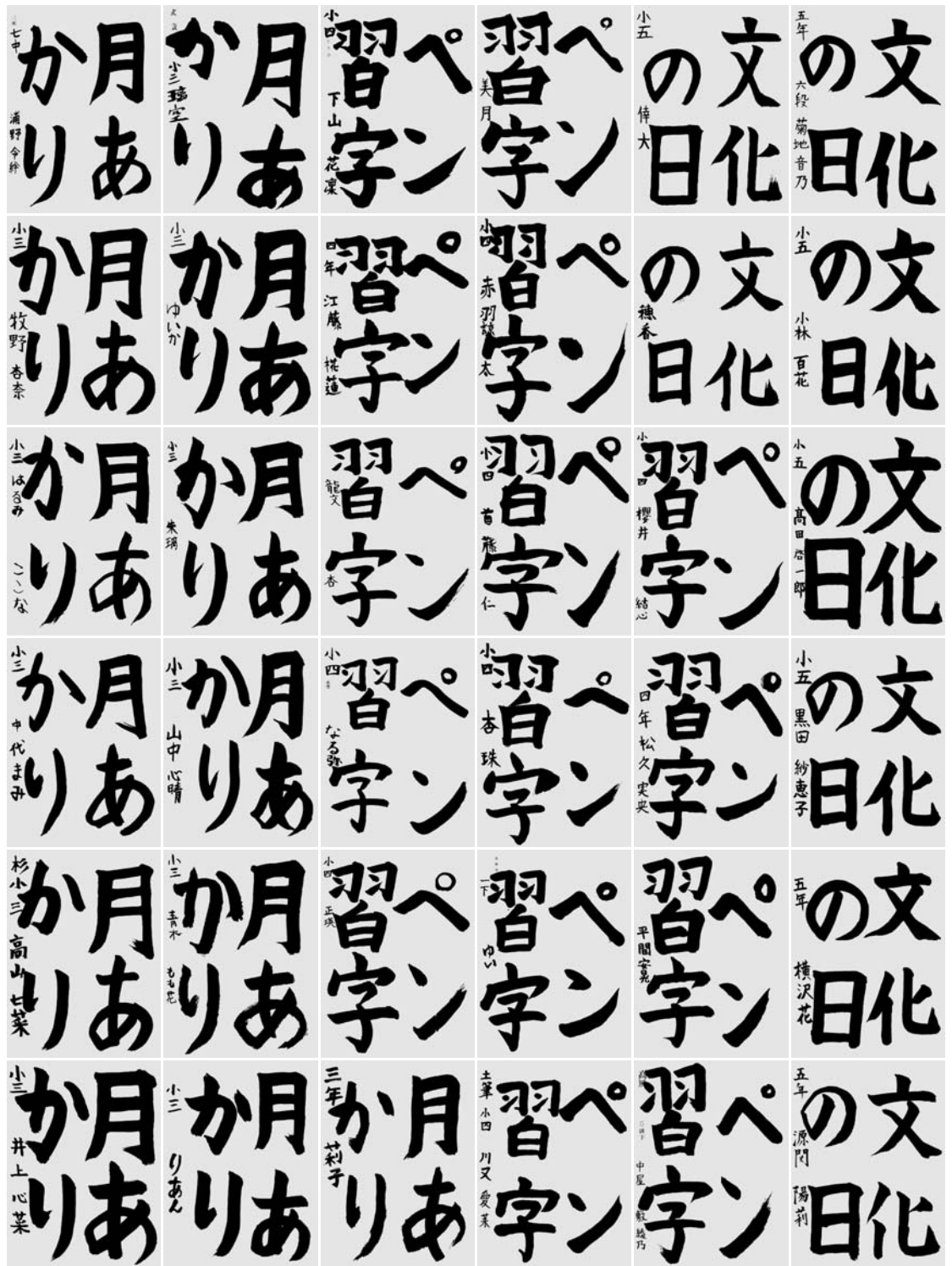
- (楷書)
- (段位)
- 竹華 染谷 教子
高風 中本 裕子
四谷 藤井 和江
杉山 圓藤 理子
華雪 土屋 惠美子
船橋 出口 陽菜
長翠 中條 正祥
玄樸 中田 千代
成城 中村 由美
上尾 長谷川 舞香
名東 菊地 繪莉香
笠原 鎌田 耀五
石東 廣谷 真結子
玄默 梶原 文彦
- (級位)
- 石峯 北野 修
練馬 佐藤 雅明
美五 齋藤 可奈英
宇土 小山 紗菜
この 太田 陽菜
信大 登内 京光
倭 味原 京子
松戸 青山 利恵
承風 佐竹 理沙子
硯扇 古屋 雅子
- (仮名)
- (段位)
- 玄樸 太田 荷葉
玄嶽 馬場 采葉
この 多賀 谷葉子
大象 林 照子
信大 杉崎 翠園
高風 清水 弘美
杜会 泉水 敬里
秀雪 武下 由加里
- (級位)
- 小光 佐藤 威一郎
八戸 千葉 文恵
若松 川島 実佳

小六 上野快 工芸 伝統	小六 昼間捺希 工芸 伝統	中六段 阿部桜乃 教室 静かな	中一 花 教室 静かな	宇土中三 學三段 窪田尚那 天守 松本城	中三 里務 天守 松本城
小六 毎田信希 工芸 伝統	大版六段 池田創 工芸 伝統	中一 あい 教室 静かな	中一 酒井文伽 教室 静かな	同村美月 教室 静かな	中三 由 天守 松本城
小六 小林陸哉 工芸 伝統	六年 栗原はるみ 工芸 伝統	小六 塚米しおん 工芸 伝統	中一 水石咲季 教室 静かな	中一 三原直亮 教室 静かな	杉月 大橋実和 天守 松本城
愛心 六年 小晴 工芸 伝統	小六 安藤日菜季 工芸 伝統	五段 あやね 工芸 伝統	中一 望月佑梓 教室 静かな	中一 七菜子 教室 静かな	中二 塩川 兼 天守 松本城
六年 朋花 工芸 伝統	小六 林 紗菜 工芸 伝統	小六 森 穂 波 工芸 伝統	中一 七段 海井可依 教室 静かな	中一 田口舞絵 教室 静かな	中三 小野澤風夏 天守 松本城
紅竹小六準五 富岡遙香 工芸 伝統	小六 希結 工芸 伝統	六年 道端 柚 工芸 伝統	中一 唯心 愛音 教室 静かな	中一 礼亜 教室 静かな	中三 井口愛理 天守 松本城

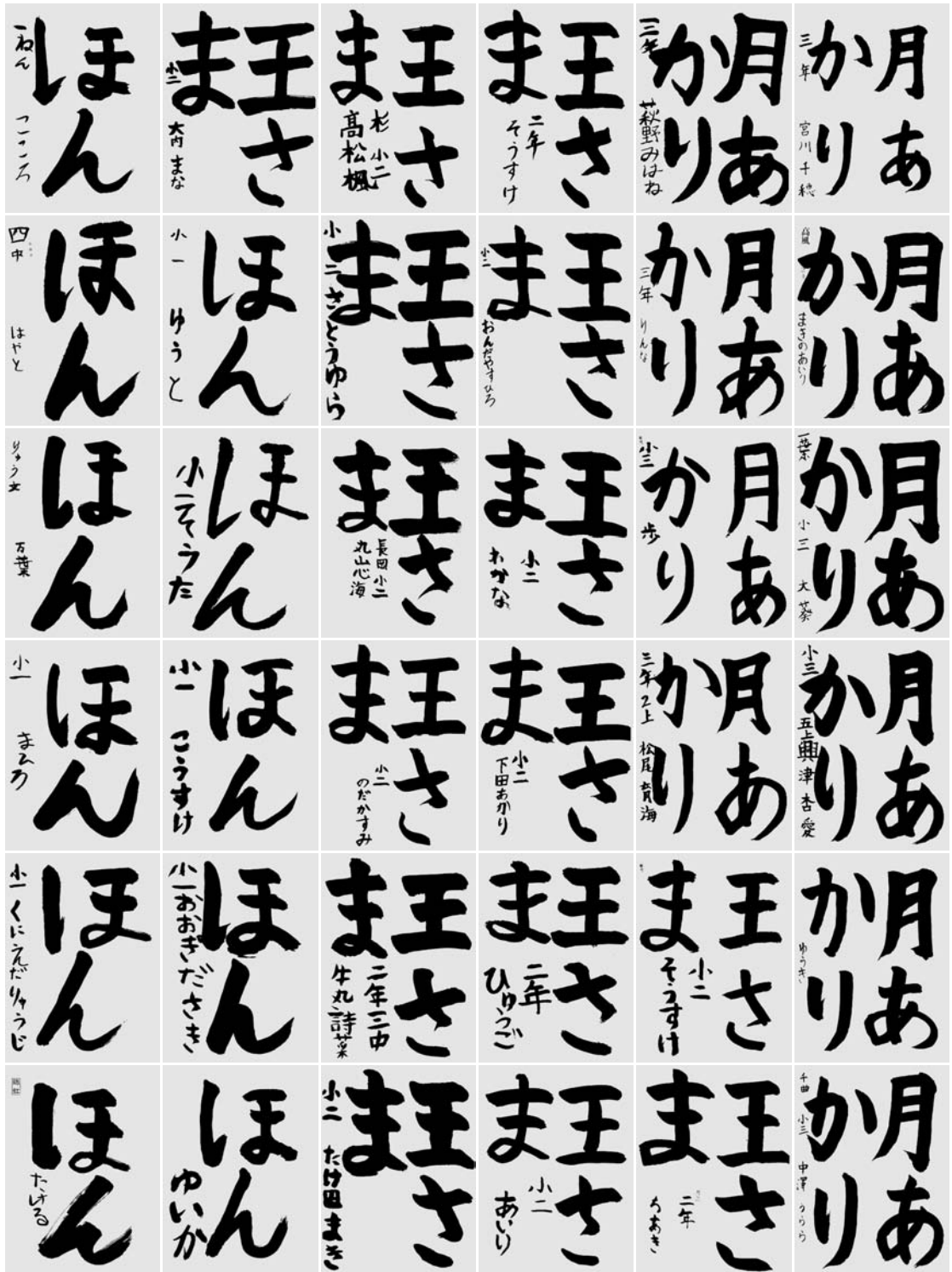
〔毛筆〕
 〔中二・三〕 華雪 新井 里桜
 宝仙 五十嵐 由
 杉月 大橋 実和
 中野 塩川 葉
 飯山 小野澤風夏
 有虹 井口 愛理
 宇土 窪田 萌那
 〔中一〕 岡村 直亮 月
 玄樸 三原 七菜子
 竹華 石村 舞絵
 この 田口 七菜子
 練馬 岡田 舞絵
 綾華 窪田 礼亜
 山愛 窪田 紀々花
 中野 酒井 文伽
 倭奈 望月 咲季
 神奈 望月 佑梓
 皓花 酒井 萌依
 唯心 阿部 桜乃
 大象 阿部 愛音
 秀雪 熊本 あい
 有象 堀米しおん
 〔小六〕 稲月 彩羽
 美二 森 穂波
 硯扇 稲月 穂波
 書之 道端 柚
 中央 池田 創
 大阪 栗原はるみ
 平成 安藤日菜季
 飯田 安藤日菜季
 静翠 林 紗菜
 竹華 上野 希結
 北府 柿沼 希結
 練馬 小林 陸哉
 茅野 毎田 信希
 愛野 小林 陸哉
 みな 木村 小晴
 紅竹 富岡 遙香

小五 結登 の文 日化	往郷 五年 尾澤大地 の文 日化	小五 桜 の文 日化	小六 本 紗 工伝 芸統	小六 関 葉々珈 工伝 芸統	六年 五段 酒井彩依 工伝 芸統
李光 五年 準初瑞音 の文 日化	小五 中山 万悠子 の文 日化	上尾 小五 高松千愛 の文 日化	小六 北原 蓮佳 工伝 芸統	小六 五段 溢谷 祐輝 工伝 芸統	小六 優 香 工伝 芸統
小五 坂口 心美 の文 日化	五年 大 の文 日化	五年 才木 創六 の文 日化	六年 渡 辺 樹里 工伝 芸統	シラス 小六 城本 悠 工伝 芸統	小六 小坂 匠生 工伝 芸統
五年 千歩 の文 日化	五年 佐藤 理世 の文 日化	小五 石川 茶倉 の文 日化	小六 中山 瑠惟 工伝 芸統	小六 長谷川 るか 工伝 芸統	小六 神谷 芽依 工伝 芸統
杉小五 坂田 史 の文 日化	小五 山下 結子 の文 日化	小五 平居 みなみ の文 日化	小五 二段 杉田 海 の文 日化	佑菜 工伝 芸統	龍文 寧々 工伝 芸統
五年 市川 美邑 の文 日化	小五 乃 愛 の文 日化	鈴鹿 小五 五中 万代葉 の文 日化	小五 和樹 の文 日化	可児 小六 準二段 白坂 絢 工伝 芸統	小六 岩下 真結 工伝 芸統

柏心 杉坂 峰上 高社 李光 光丘 倭今 虹苑 山下 泉華 佐藤 山愛 田村 中山 万悠子 往郷 尾澤 大地 鈴鹿 万代 平居 蒼 練馬 石川 才木 創太 北府 高松 千愛 上尾 藤原 和樹 若松 井上 杉田 海 月東 杉田 和樹 名東 中山 瑠惟 秀雪 渡辺 樹里 この 北原 凜佳 たけ 池田 杏紗 若松 白坂 絢 可児 赤松 佑菜 成城 長谷川 華雪 城本 悠 シー 名東 祐輝 霞墨 関 菜々珈 優 岩下 真結 龍文 今尾 寧々 若竹 神谷 芽依 高社 小坂 匠生 光丘 三谷 優香 皓花 酒井 彩依



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|
| 一絵 | 杉 | 和 | 晴 | 凜 | 石 | 富 | 蔵 | さわ | 蓮 | 若 | 玄 | 渚 | 秀 | 華 | 龍 | こ | 葉 | 土 | 英 | 光 | 練 | 照 | 雅 | 高 | 玄 | 大 | 高 | 玄 | み | 平 | 湊 | 千 | 瑞 | 霞 | 富 |
| 井 | 高 | 中 | 田 | 浦 | 野 | 士 | 青 | 山 | 原 | 小 | 根 | 神 | 福 | 高 | 駒 | 江 | 下 | 川 | 菅 | 須 | 首 | 赤 | 小 | 中 | 平 | 松 | 櫻 | 山 | 金 | 源 | 横 | 黒 | 高 | 小 | 菊 |
| 上 | 山 | 代 | 中 | 野 | 野 | 士 | 木 | 中 | 島 | 野 | 岸 | 原 | 山 | 日 | ヶ | 藤 | 山 | 原 | 原 | 田 | 藤 | 藤 | 林 | 屋 | 間 | 久 | 井 | 本 | 関 | 沢 | 田 | 田 | 林 | 地 | |
| 心 | 七 | ま | こ | 野 | 野 | 士 | 桃 | 心 | 朱 | 衣 | 璃 | 莉 | 正 | なる | 嶺 | 花 | 愛 | 優 | 杏 | 須 | 仁 | 美 | 乃 | 乃 | 安 | 実 | 結 | 穂 | 陽 | 花 | 恵 | 啓 | 音 | | |
| 菜 | 菜 | み | な | 奈 | 奈 | 士 | 花 | 晴 | 璃 | 果 | 空 | 子 | 瑛 | 弥 | 杏 | 蓮 | 菜 | 菜 | 珠 | 珠 | 太 | 月 | 乃 | 乃 | 晃 | 央 | 心 | 大 | 莉 | 一郎 | 花 | 乃 | | | |



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 珠紅 | 玄黙 | 若松 | 龍文 | 芙二 | 山愛 | 宝春 | たけ | 有穂 | 花蓮 | 霞墨 | 【小一】 | 秀雪 | 霞墨 | 皓花 | 青雲 | 長岡 | 一絵 | 杉 | 光丘 | 山愛 | 城彩 | 八潮 | 平成 | 書之 | 華雪 | 小光 | 華雪 | 山愛 | 湊 | 千曲 | 名城 | 名東 | 一葉 | 高風 | 源創 |
| 蕪木 | 国枝 | 伊藤 | 深田 | 菅原 | 矢野 | 長山 | 扇田 | 渡辺 | 豊崎 | 柳田 | 結仁 | 大内 | 武田 | 牛丸 | 野田 | 丸山 | 佐藤 | 高松 | 木本 | 尾崎 | 南波 | 恩田 | 平良 | 阿部 | 小山 | 松尾 | 廣岡 | 瀧口 | 萩野 | 中澤 | 富田 | 興津 | 伊藤 | 牧野 | 宮川 |
| 健 | 琉嗣 | 真優 | 万葉 | 颯 | 結 | 紗季 | 幸佑 | 蒼太 | 結仁 | 蒼太 | 結仁 | 真希 | 詩菜 | 心海 | 心海 | ゆら | 楓 | 梨 | 彪悟 | 泰嘉 | 泰嘉 | 泰嘉 | 千秋 | 千秋 | 湊介 | 育海 | 琳奈 | みはね | 希 | 杏愛 | 大葵 | 愛莉 | 千穂 | | |

生涯のうち常に用ひて目的を達しない
人こそ其の生涯に於て、何れも「
ついでに」となり得ない(ヘンリクス)
よに 竹 麓 更

柿の落葉がしっとり露にぬれ
ている。今朝の冷え込みにはもう
冬の気配が漂う。 名東中二 大級
高須 大知

柿の落葉がしっとり露にぬれ
ている。今朝の冷え込みにはもう
冬の気配が漂う。 土筆 文部 中三 七段
四條 結菜

学校のクラブ活動で、協調
性や責任感などが身につく
と言われました。 徳大 大六
大槻 志穂

文化の日に有名な画家が
かいた絵のてんらん会に
行きました。 山安 四四
石井 みのり

学校のとしよかん
でかきた本をよかん
みましました。 中野 三二
ひらおあんな

学校のとしよかん
でかきた本をよかん
みましました。 青木 柚月

生涯のうち常に用ひて目的を達しない
人こそ其の生涯に於て、何れも「
ついでに」となり得ない(ヘンリクス)
よに 竹 麓 更

柿の落葉がしっとり露にぬれ
ている。今朝の冷え込みにはもう
冬の気配が漂う。 名東 中三
石山 愛

学校のクラブ活動で、協調
性や責任感などが身につく
と言われました。 中澤 五二
中澤 ひかり

学校のクラブ活動で、協調
性や責任感などが身につく
と言われました。 大竹 莉緒

文化の日に有名な画家が
かいた絵のてんらん会に
行きました。 半成 四四
小林 美味

学校のとしよかん
でかきた本をよかん
みましました。 中野 三二
中山 空

学校のとしよかん
でかきた本をよかん
みましました。 ねまき 三二
あいのけいし

北海道にすむシマフクロウは、翼を
広げると百八十センチもある世界最
大級のフクロウです。 栗崎 敬
清田 浪珠

柿の落葉がしっとり露にぬれ
ている。今朝の冷え込みにはもう
冬の気配が漂う。 光正 中二
清水 梨花

学校のクラブ活動で、協調
性や責任感などが身につく
と言われました。 藤久 六六
田村 柑奈

学校のクラブ活動で、協調
性や責任感などが身につく
と言われました。 レバ 中三
下里 優成

文化の日に有名な画家が
かいた絵のてんらん会に
行きました。 社 五十四
小泉 夏理奈

学校のとしよかん
でかきた本をよかん
みましました。 正程 二二
高はしあ

学校のとしよかん
でかきた本をよかん
みましました。 やしろ 二二
古内 大が

柿の落葉がしっとり露にぬれ
ている。今朝の冷え込みにはもう
冬の気配が漂う。 名東 中三 七段
小野 麻帆

柿の落葉がしっとり露にぬれ
ている。今朝の冷え込みにはもう
冬の気配が漂う。 名東 中三 七段
小野 麻帆

学校のクラブ活動で、協調
性や責任感などが身につく
と言われました。 新宮 六六
清水 周

文化の日に有名な画家が
かいた絵のてんらん会に
行きました。 前田 大志

(硬筆)

- 【一般】 文化 川久保麗爽
石峯 金澤 瑤月
- 【中学】 この 清田 波琉
湊 務台 峻也
名東 高須 大知
玄黙 布山 愛
光丘 清水 栄花
有穂 小野 麻織
土筆 四條 結菜
- 【小五・六】 千曲 中澤ひかり
龍文 田村 柑奈
- 【小一・二】 八潮 練馬 有正 杉月 中野 樋口 杏奈
青木 高橋あおい
藍原 青木 柚月
古内 京史 大雅
- 【小三・四】 シー 大下 優依
湯本 前田 大志
山愛 石井みのり
平成 小林 美咲
雅 小泉 夏理奈
- 【小一・二】 八潮 練馬 有正 杉月 中野 樋口 杏奈
青木 高橋あおい
藍原 青木 柚月
古内 京史 大雅

杉志 摩	游土 墨筆	磯八 迎潮	婉 友	玄 象	大 象	笠 原	美 二	港南 嶽	四 嶽	大 阪	柏 心	杉 心	皓 花	平 成	高 風	玄 嶽	富 貴	中 野	光 丘	北 府	八 潮	笠 原	東 陽	静 象	霧 訪	東 訪	正 桂	蒲 田	葉 田	蒼 郷	蒼 郷	若 竹		
筆和	游遊	並葉	葉葉	賀李	美由	嘉盛	慶慶	翠翠	仲仲	彰彰	紅紅	里里	眞眞	佑佑	高奏	春逸	安安	富夫	中野	光丘	北府	八潮	笠原	東陽	静象	霧訪	東訪	正桂	蒲田	葉田	蒼郷	蒼郷	若竹	
心子	惠利	沙明	米子	枝京	悠單	由貴	嘉盛	慶慶	翠翠	仲仲	彰彰	紅紅	里里	眞眞	佑佑	高奏	春逸	安安	富夫	中野	光丘	北府	八潮	笠原	東陽	静象	霧訪	東訪	正桂	蒲田	葉田	蒼郷	蒼郷	若竹
水土	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山	巍山

A large grid of Japanese characters (names and titles) arranged in rows and columns, likely representing a list of authors or contributors. The grid is organized into several distinct sections, with some cells containing specific annotations like '特2級' or '準1級'. The characters are written in a dense, vertical format typical of Japanese lists.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Main table containing names and grades for various groups. Includes a central section for '小・中学校の部' (Elementary and Junior High School Department) with sub-sections for '愛心支部' (Aikoin Branch), '上尾支部' (Ueno Branch), '飯山支部' (Iiyama Branch), '一葉支部' (Ichioh Branch), '宇土支部' (Utsu Branch), '往郷支部' (Wakou Branch), '大泉支部' (Daizen Branch), and '大田支部' (Ohta Branch). Each entry includes a name and a grade level.

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Table with 10 columns and 20 rows of names and numbers. The table lists members of various clubs, organized by club name in the first column. Each entry includes a name and a corresponding number. The clubs listed include 初段, 二段, 三段, 四段, 五段, 六段, 七段, 八段, 九段, 十段, 十一段, 十二段, 十三段, 十四段, 十五段, 十六段, 十七段, 十八段, 十九段, 二十段. The names are written in kanji, and the numbers are in the right column of each row.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Table with 10 columns and 100+ rows of Japanese names and grades. Columns include names like 多賀谷, 清田舞, 高橋凛, etc. Rows represent different categories or grades. Symbols like square, circle, and star are used to denote specific status.

この葉・桜木・ささなみ・さわらび・山愛・杉月・シバズ・司峰・志摩・秀水・秀雪・珠紅・珠悠・小光・城彩・松聲・承風・知床・新城・瑞祥・杉・須坂・鈴鹿・硯・靑雲・正桂

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

Table with 10 columns and 20 rows of names and numbers. Each cell contains a name (e.g., 高橋あ, 堀内愛) and a number (e.g., 3, 8, 4). The names are organized into vertical columns, and the numbers are organized into horizontal rows. Some cells contain symbols like triangles or circles.

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

Main table containing names, grades, and affiliations of members, organized in columns and rows. Includes various club names like '富貴支部', '聖支部', '船橋支部', etc.

Table with 10 columns and 20 rows of Japanese characters and symbols, representing a ranking or classification system. The characters include names and symbols like '準', '特', '有象', '有象虹', etc.

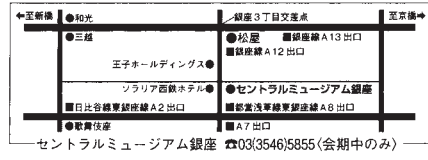
注意 1. 作品には必ず支部名(学年) 段級位 氏名をお書き下さい。
2. 貼付するバーコード出品券の上段の出品課題の○印、段級位も忘れずに正しく書けているかご確認ください。
※上記にご注意いただき、正しい登録がされると誤りによりチェック等の作業がなくなります。ご協力下さい。

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

第62回有山社(東京謙慎)書展

謙慎書道会では、東京・埼玉・千葉在住の常任理事による新春恒例の書道展を開催します。是非ご覧下さい。

◇会期 令和3年1月12日(火)～17日(日)
 ◇会場 セントラルミュージアム銀座
 東京都中央区銀座3-9-11
 紙パルプ会館5階



出品者 賛助出品 田中節山先生
 市澤静山 池上湖心 荻田光山 恩田静月 蕪木珠紅 久保妍山
 小淵石峯 小室墨汀 杉山暁雲 杉山窓影 鈴木春鳳 関 香風
 竹内青紗 竹内藍山 露崎玄峯 内藤望山 中内真意 樋口玄山
 藤森大節 宮本耕成 柳澤玄嶽 山口啓山 渡辺華雪(書象会関係)

書象会便り

◆第83回謙慎書道会展の申込をお忘れなく

郵便振替による標記申込の締切日が十二月十八日(金)です。申込をされていない方は、大至急書象会本部までご連絡下さい。

☆添削会などの日程は次の通りです。

添削会 十二月二十日(日) 武蔵野スイングホール
 添削会 一月十一日(月) 武蔵野スイングホール
 最終選考会 二月 七日(日) 武蔵野スイングホール

◆秋季昇段級試験終了

令和二年秋季師範、準師範、特待生の各試験の審査、一般、学生の昇段級審査が十一月二十九日(日)に終了いたしました。支部長先生をはじめ、受付並びに返送に当たられた事務局員、お手伝いの皆様には感謝申し上げます。

《書展報告》

☆第73回土浦市美術展覧会

会期 十一月十二日(木)～二十三日(月) 土浦市民ギャラリー
 出品者 高瀬霞山 高瀬秀琴 宮下夕霞

☆第61回熊日書道展

会期 十二月八日(火)～十三日(日) 熊本県立美術館
 入選 ▲漢 字▼ 鹿谷光琴 虎本溪風
 ▲近代詩文▼ 岡野冷泉

《書展予告》

☆第15回関口紅雨書の世界

光・水・花 Part XV
 会期 十二月十七日(木)～二十日(日)
 会場 みなとみらいギャラリー2F

☆雅誕会書展

会期 一月六日(水)～十一日(月) 有楽町朝日ギャラリー(有楽町マリオン11階)
 出品者 小室墨汀 竹内墨洋
 ☆大田区書道連盟70回記念会員書展
 会期 三月十三日(土)～十六日(火)
 会場 大田区民プラザ 地下一階展示室
 出品者 鈴木花仙(本会関係)

第37回 成田山全国競書大会

青少年に心の安らぎを与え、豊かな情操を養うことを願い



作品募集期間/令和3年1月25日～31日

主催：成田山全国競書大会実行委員会
 後援：中国書法家協会/中国大使館/読売新聞社

お問合せ 成田山全国競書大会実行委員会事務総局

TEL 0476-24-2017 (直通) FAX 0476-24-2084

ホームページ <http://www.naritasan-kyosho.jp>

氏名

発行人 (有) 書象
 代表 上 條 節 夫
 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三六
 郵便番号 180-0001 電話 〇四二(五三)九七四三
 振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一
 振替名義 (有) 書象
 印刷所 株式会社 リンクス